



# 浄化槽用バクテリア製剤 ロービック K-57JD・K-37JD

# Q & A

**Q** 浄化槽のトラブルにはどのような原因がありますか？

浄化槽の詰まり、悪臭、水質低下には主に以下の原因が考えられます。

●トイレトペーパーの使用量が多い●調理油や調理くずが多く流れ込んだ●頻繁に嘔吐物を流した●洗剤、カビ取り剤、漂白剤、殺虫剤を多く使用した ●ペットの糞を頻繁に流している●ブローア（送風機）が停止している●しばらく浄化槽の清掃をしていない等

**Q** K-37JD（定期メンテナンス用）と K-57JD（初期処理用）の使い分けは？

K-37JD と K-57JD ではバクテリアの菌数が異なります。K-57JD の方が有効菌数が多いため、初めて使用する時や悪臭がひどい時は、まず最初に K-57JD を使用します。使用後症状が改善された段階で、次回以降 K-37JD に切り替えていただくことも可能です。状況にもより異なりますが、年に 3～4 回（季節ごと）の継続使用をおすすめしています。

**Q** 浄化槽のマンホールのふたを開けて投入しなければいけませんか？

マンホールのふたを開ける必要はありません。投入方法は、浄化槽に一番近いトイレから本品を投入し、本剤が浄化槽に届くよう水を 2 回ほど流して終わりです。就寝前やお出かけ前など浄化槽に水が流れない時間帯に投入すると効果的です。

**Q** 浄化槽やもともと生息するバクテリアに影響ありませんか？

本来浄化槽の中にも自然界のバクテリア（微生物）が存在しますが、K-37JD および K-57JD のバクテリアも自然界の有用バクテリアを使用しています。浄化槽のトラブルが発生している場合、浄化槽内に生息するバクテリアが弱っていたり、バランスが崩れている可能性がありますので、有用バクテリアを追加投入することで浄化槽内のバクテリアと共存共栄し相乗効果を発揮します。

**Q** バクテリア製剤を投入することでどのような効果が期待できますか？

本来、浄化槽内には自然発生したバクテリアが住み着いており、エアレーション（空気を送り込む）などで活性化させることで、浄化槽内の汚物を分解します。浄化槽の機能が低下した場合、バクテリア製剤を追加投入することで、バクテリアの活性が急速に高まり、浄化を促進します。したがって、浄化槽の水質は安定し、定期的な維持管理費用の削減につながります。

**Q** 汲み取り式トイレにも使用できますか？

汲み取り式トイレの悪臭対策にもご使用いただけます。便槽の容量 500L に対し、K-57JD の 946ml を半分から 1 本を投入します。